

適切なボールバルブを選定するポイントは？

1. 使用環境を確認する : 【設置スペース】や【ご使用条件】
2. メンテナンスを考慮する : 不具合時のバルブ交換【要】 【不要】
3. ラインの重要性を確認する : 信頼性が高いのは、21型・21α型



ボールバルブ21型・21α型のGoodポイント、コンパクトボールバルブ27型のGoodポイント

この2製品をご案内すると、「仮設配管で使用するので、メンテナンス性は犠牲にしても、少しでもコンパクトで安価なものを」というお客様の声にお応えする製品が、コンパクトボールバルブ27型となります。ボールバルブ21・21α型では、コンパクトさや価格ではコンパクトボールバルブ27型には及びませんが、メンテナンス性だけでなく幅広い呼び径と接続規格・材質組み合わせから、あらゆる薬品にも柔軟に対応できるというメリットを備えています。



ボールバルブ21型・21α型		コンパクトボールバルブ27型
13~100mm ○	呼び径	△ 13~50mm
ソケット形・ねじ込み形・スピゴット形・フランジ形 ○	接続	△ ソケット形・ねじ込み形
U-PVC/C-PVC/PP/PVDF ○	本体材質	△ U-PVC/C-PVC
27型より高価 △	価格面	○ 21α型より安価
○リング等の部品の交換が可能 ○	メンテナンス性	△ 部品の交換ができない ソケット式だと交換不可能
キャップナットが有る分大きい △	軽量/コンパクト	○ 軽量・コンパクト
トップフランジ付きなので自動弁への変更が容易 ○	自動弁への切替	△ トップフランジをオプションで取付する必要あり
5色のカラーハンドル、ワンタッチホース、エンザート、Flow Control仕様、穴あき仕様、リミットスイッチ付 ○	オプション	△ 4色のカラーハンドル

▶ ボールバルブ21型・21α型の製品情報へ

▶ コンパクトボールバルブ27型の製品情報へ

配管設備の選定にお悩みの際は、お問い合わせください！旭有機材の営業員が適切なバルブ選定をお手伝いします！

▶ 旭有機材へお問い合わせ